

外部評価軽減要件確認票

事業所番号	2391100167
事業所名	グループホーム フィロスみなと

【重点項目への取組状況】

重点項目①	事業所と地域とのつきあい (外部評価項目: 2)	評価
	自治会へは、入会していないが、町内会長、民生委員など地域役員が、運営推進会議に参加し、地域行事への参加や町内親睦会への誘いなどがある。食品の移動販売車「ボンマルシェ」を月2回開催して、利用者と近隣住民との交流の場となっている。地域ボランティアも踊りやカラオケなどがあり、幼稚園児とふれあう会も催された。	○
重点項目②	運営推進会議を活かした取組み (外部評価項目: 3)	評価
	会議は、複合施設全体で開設後すぐに2ヶ月毎に開かれている。会議には、いきいき支援センター職員、町内会長、民生委員、家族が出席している。行事報告から、地域のイベントへの参加依頼、介護問題、認知症講座についてなど多くの話し合いが持たれている。	○
重点項目③	市町村との連携 (外部評価項目: 4)	評価
	生活保護の利用者の手続きや相談に区役所を訪れたり、訪問を受けたりするなど連携を密に取っている。いきいき支援センターから「介護相談窓口」の設置などの提案がなされており、多くの期待が寄せられている。	○
重点項目④	運営に関する利用者、家族等意見の反映 (外部評価項目: 6)	評価
	面会時や、家族への利用者の様子を伝える「月間報告書」を郵送して、意見、要望を聞き取っている。また、苦情窓口も設置しており、契約時に説明を行っている。提出された意見、要望は、各種会議で話し合わせ、運営に反映させている。	○
重点項目⑤	その他軽減措置要件	評価
	○「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。	○
	○運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されている。	○
	○運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。	○
総合評価		○

【過去の軽減要件確認状況】

実施年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
総合評価	—	—	—	—	—	○

1. 外部評価軽減要件

- ① 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」及び「2 目標達成計画」を市町村に提出していること。
- ② 運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されていること。
- ③ 運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。
- ④ 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の2、3、4、6の実践状況 (外部評価) が適切であること。

2. 外部評価軽減要件④における県の考え方について

外部評価項目2、3、4については1つ以上、外部評価項目6については2つ以上の取り組みがなされ、その事実が確認 (記録、写真等) できること。

外部評価項目	確認事項
2. 事業所と地域のつきあい	(例示) ① 自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。 ② 地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。
3. 運営推進会議を活かした取組み	(例示) ① 運営基準第85条の規定どおりに運用されている。 ② 運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取り組みを行っている。
4. 市町村との連携	(例示) ① 運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。 ② 市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。
6. 運営に関する利用者、家族等意見の反映	(例示) ① 家族会を定期的 (年2回以上) に開催している。 ② 利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。 ③ 家族向けのホーム便り等が定期的 (年2回以上) に発行されている。

(注) 要件の確認については、地域密着型サービス外部評価機関の外部評価員が事実確認を行う。